

巻末データ
(R7.12現在)

①鳥取県の人工妊娠中絶の現状 p.p. 2-5

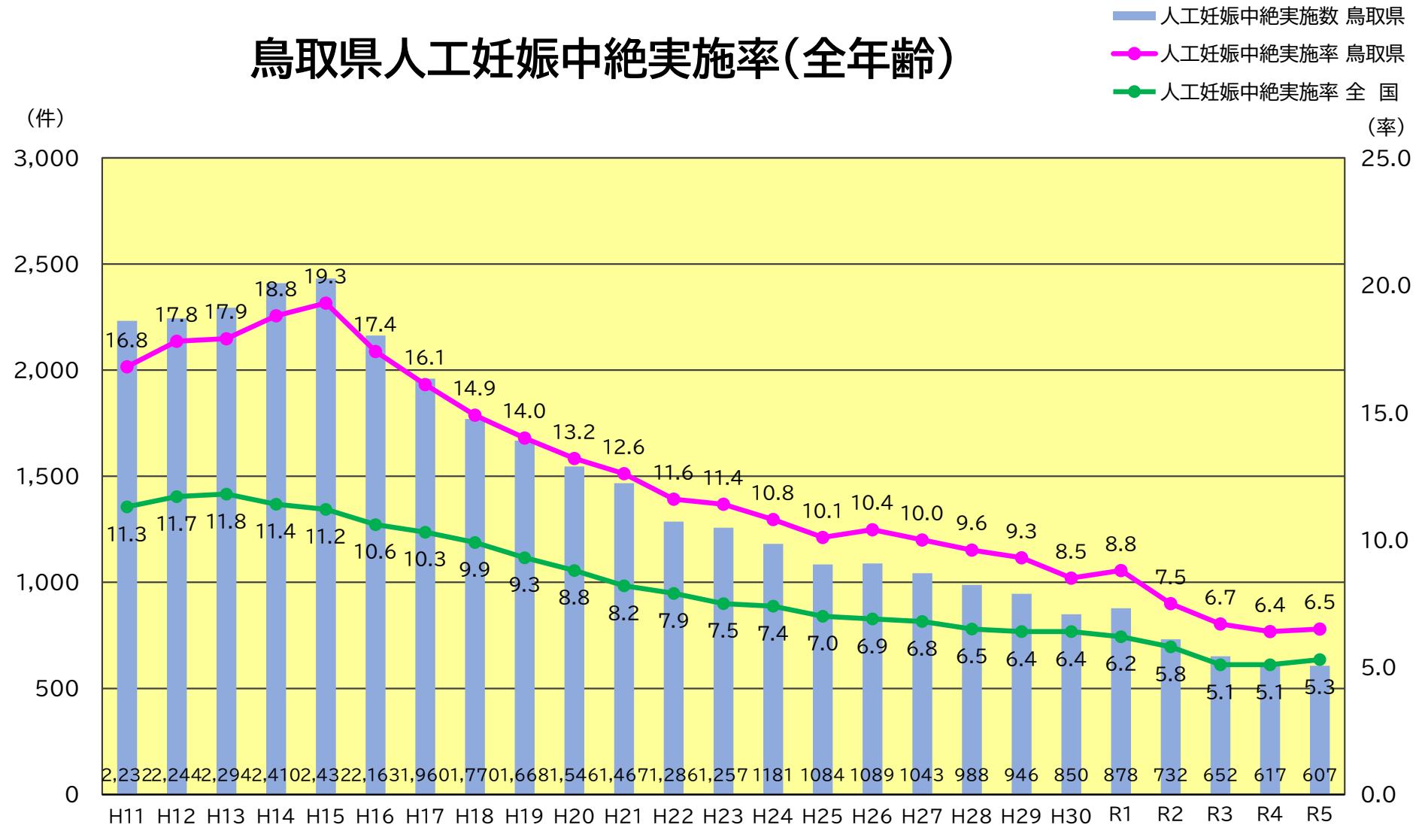
【出典】R5年度衛生行政報告例、R5年度鳥取県人口動態統計

②鳥取県の性感染症の発生状況 p.p. 6-10

【出典】鳥取県感染症発生動向調査事業報告、厚生労働省エイズ動向委員会

鳥取県中部総合事務所倉吉保健所
健康支援総務課 作成

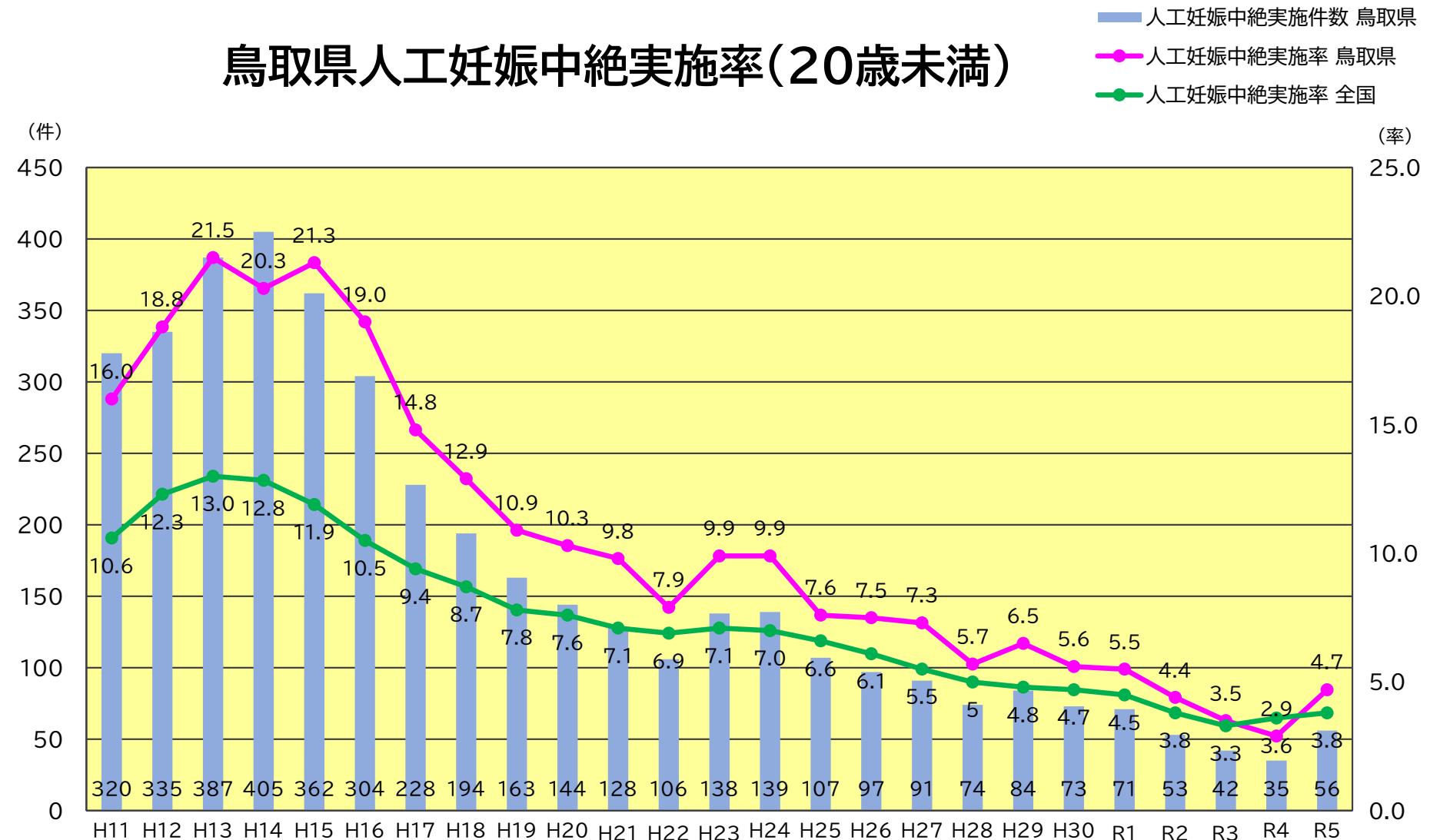
鳥取県人工妊娠中絶実施率(全年齢)



(実施率:15~49歳女子人口千人に対し人工妊娠中絶実施数)

【出典】R5年度衛生行政報告例

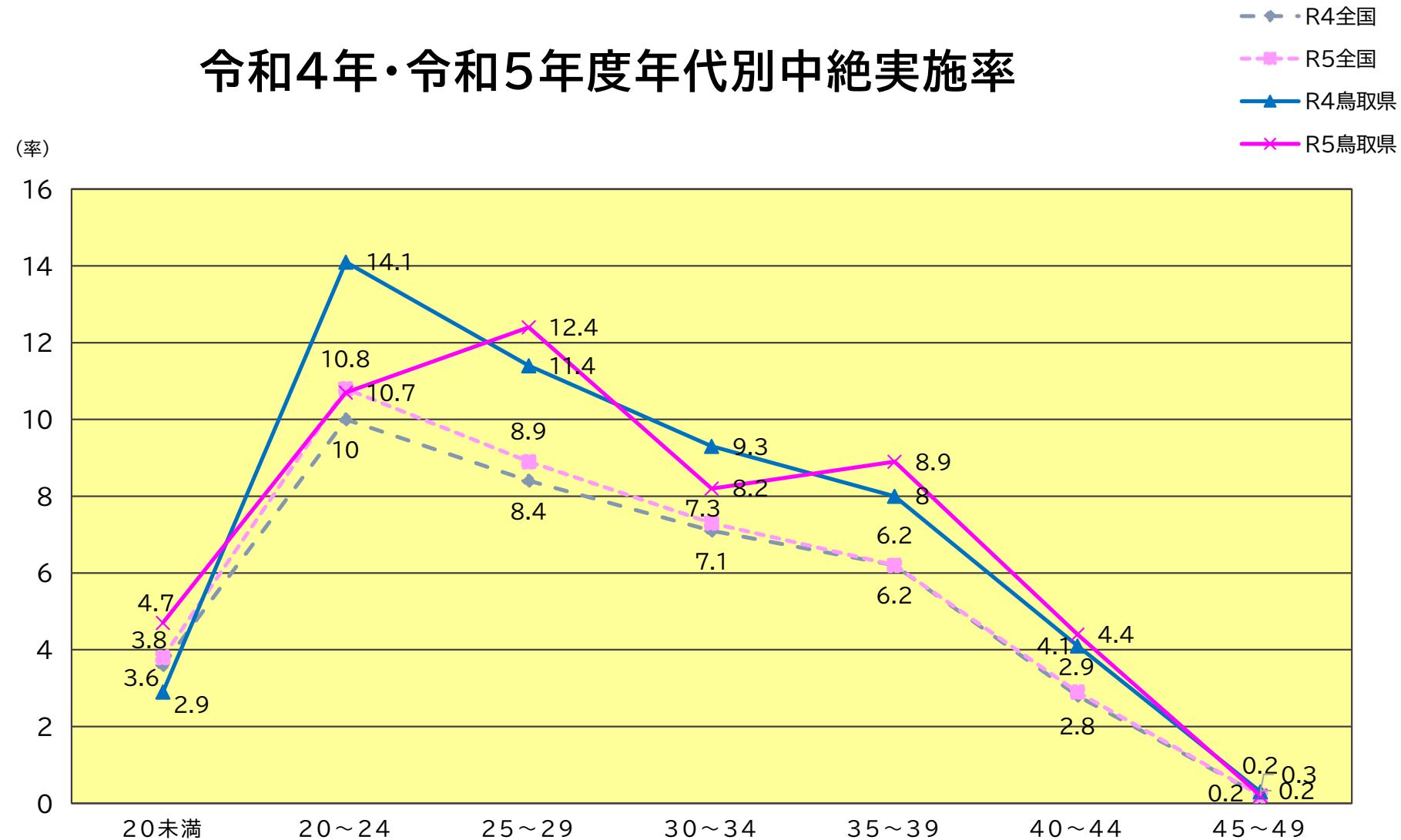
鳥取県人工妊娠中絶実施率(20歳未満)



(実施率:15~19歳女子人口千人に対し人工妊娠中絶実施数)

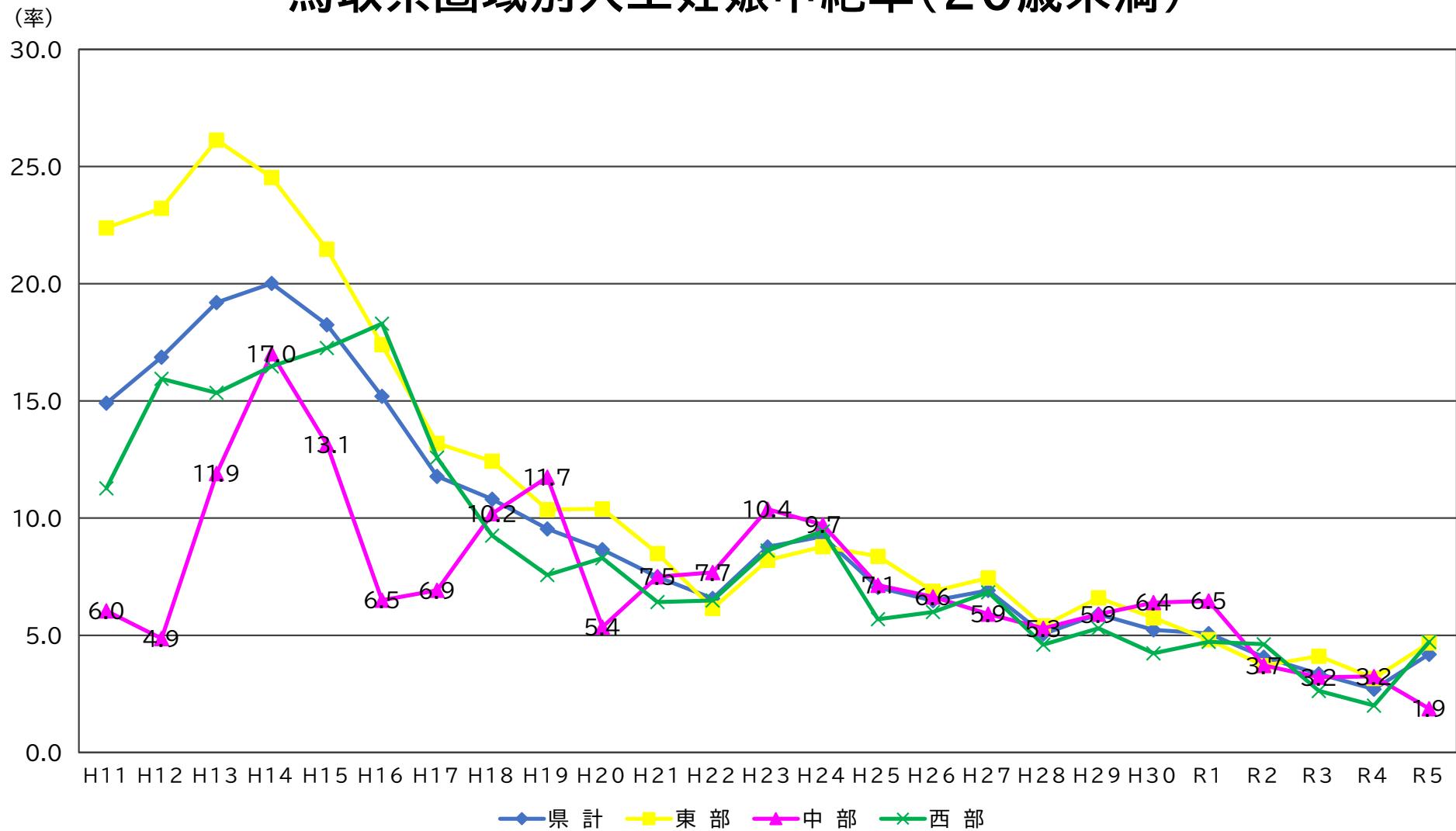
【出典】R5年度衛生行政報告例

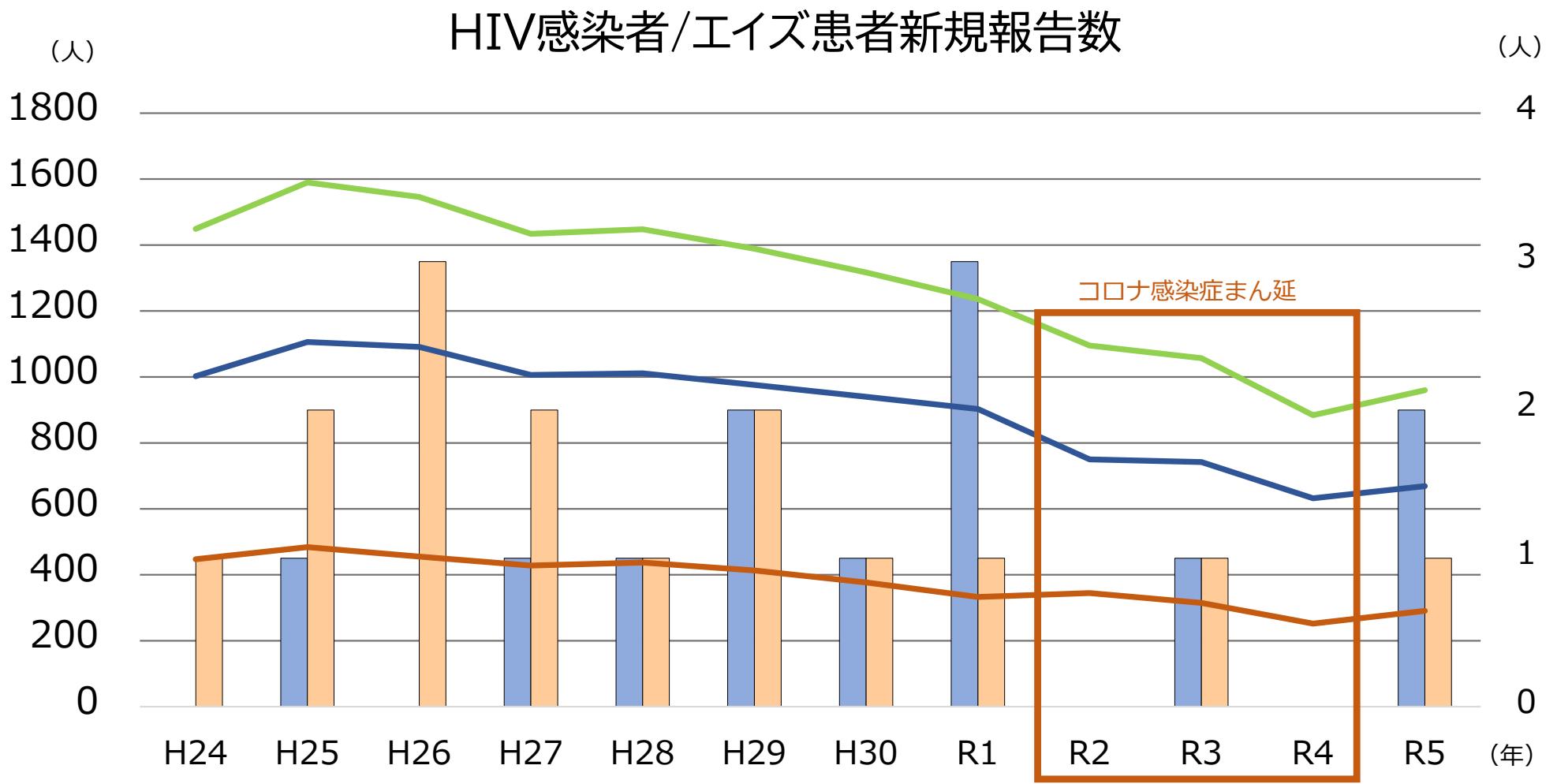
令和4年・令和5年度年代別中絶実施率



・鳥取県はどの年代も全国の人工妊娠中絶実施率を上回る状況が続いている

鳥取県圏域別人工妊娠中絶率(20歳未満)





■ HIV感染者
(鳥取県)

■ AIDS患者
(鳥取県)

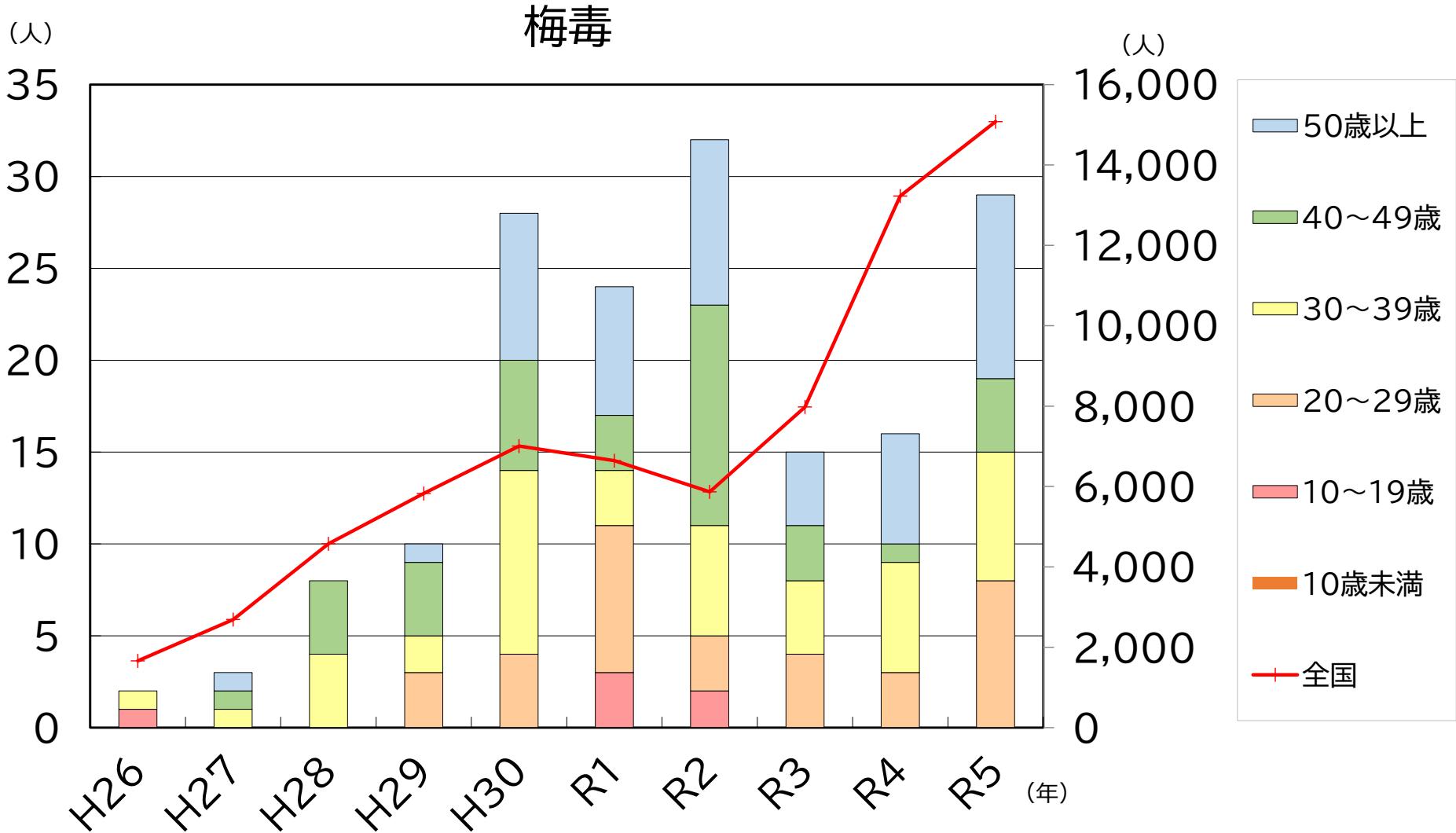
— 新規発生数
(全国)

— HIV感染者
(全国)

— AIDS患者
(全国)

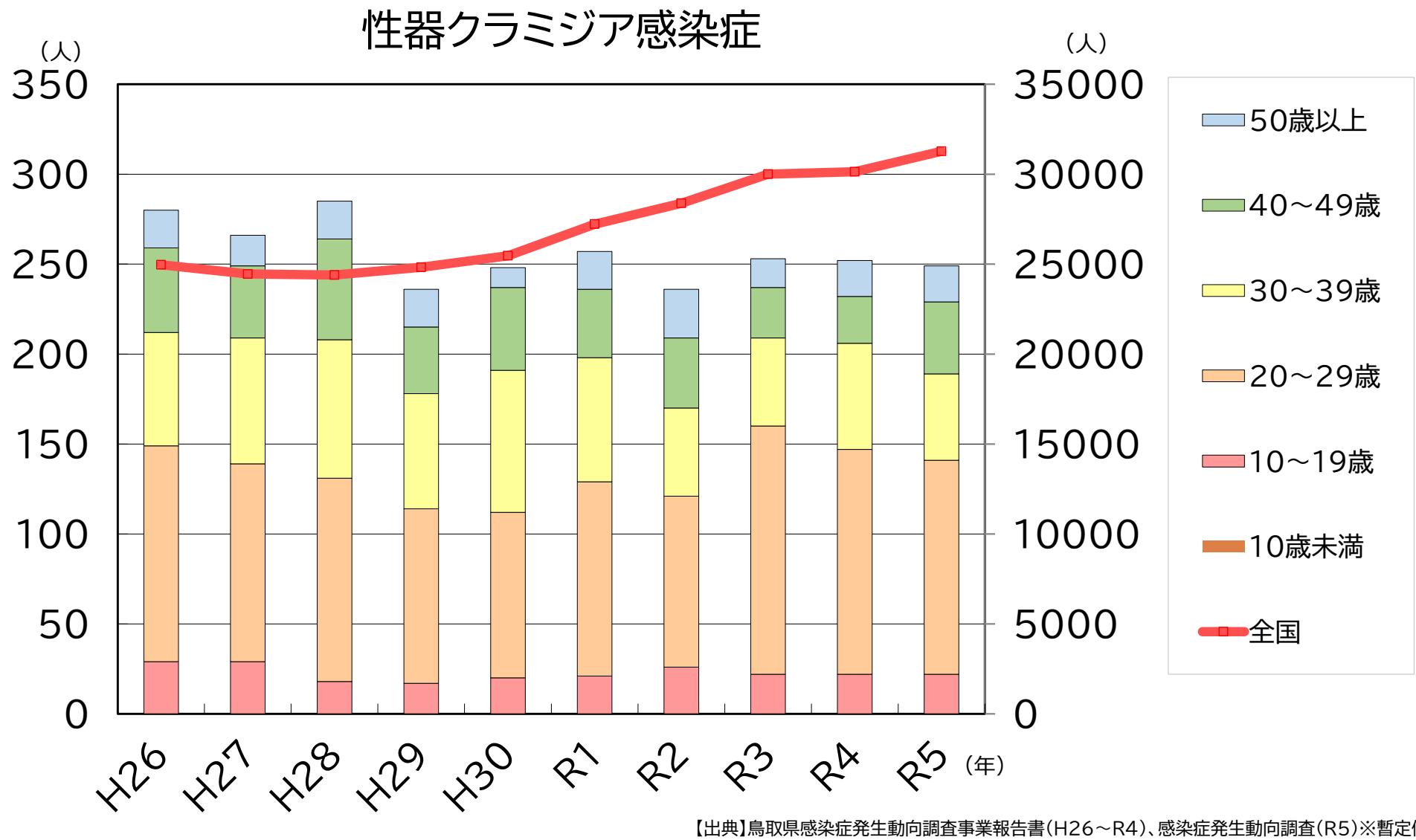
※新規発生数=HIV感染者数+AIDS患者数 【出典】厚生労働省エイズ動向委員会

- R5年、全国のHIV感染者の新規報告数は669件、エイズ患者は291件
- HIV感染症は7年、エイズ患者は3年ぶりに増加
- 鳥取県はHIV感染者とエイズ患者を合わせて、年間0~4件で推移
- R2~R4年の減少は、新型コロナウイルス感染症のまん延により検査機会の減少や検査の自粛が影響していると推測される



【出典】鳥取県感染症発生動向調査事業報告書(H26～R4)、感染症発生動向調査(R5)※暫定値

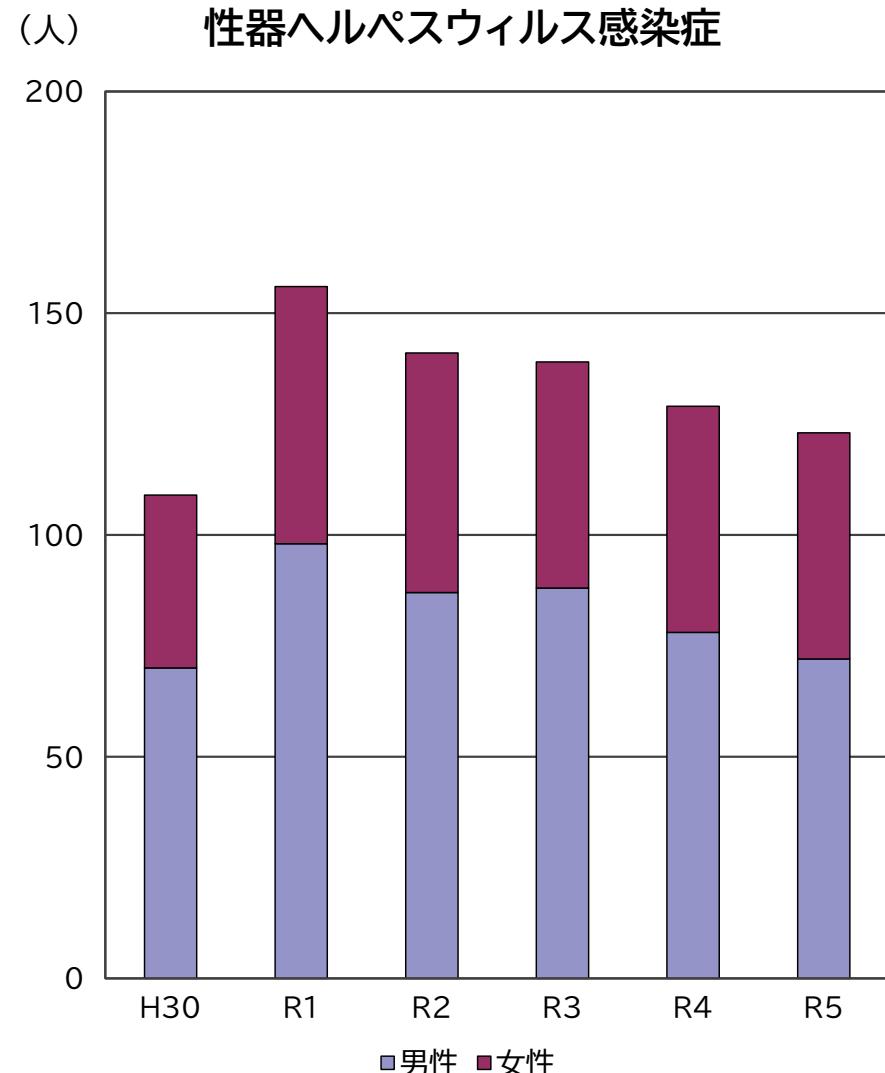
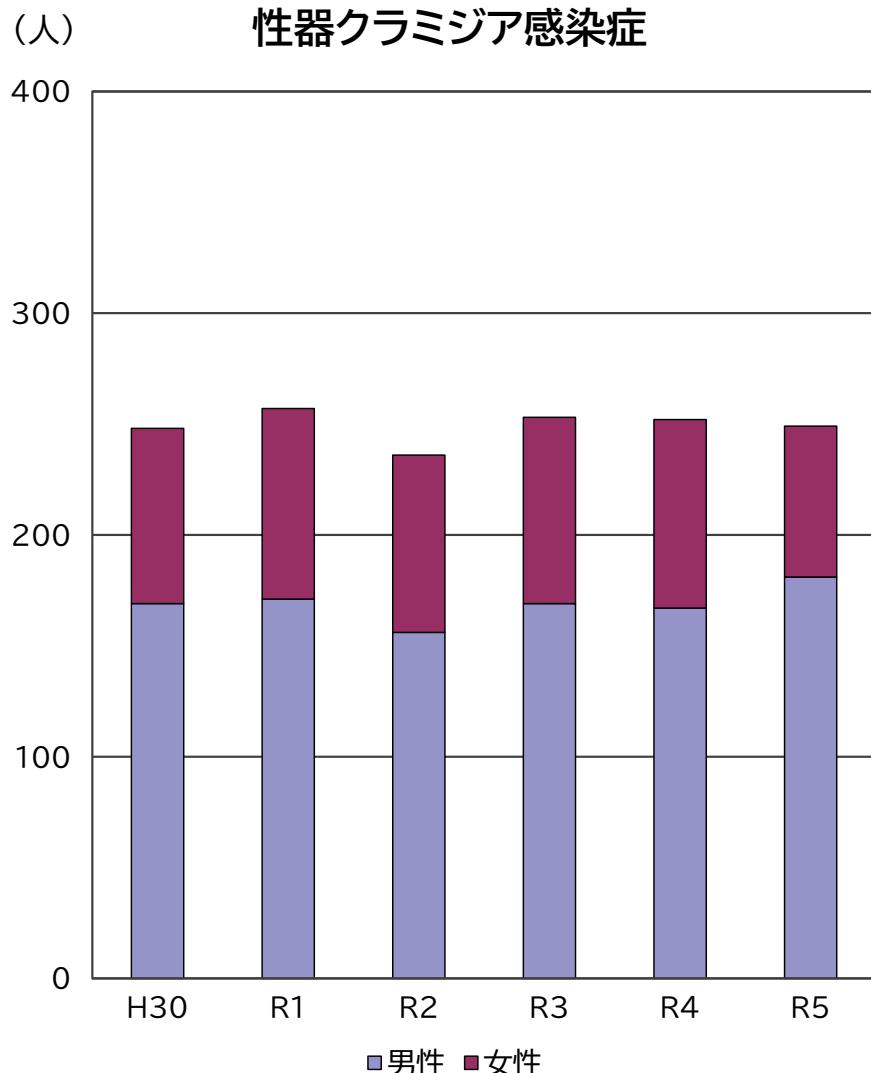
- 全国的に感染者数が10年で約9倍と急増
- 男性20代～50代、女性は20代が突出して増えている
- 鳥取県では20～50代以上の幅広い世代で報告されている



- R5年、鳥取県新規発生報告の67%が20～30代であり、全国では約75%とさらに高い割合を占めている
- 倉吉保健所で検査を受けた人のうち、約3割がクラミジア陽性！
- そのうち8割が自覚症状がなかった

性感染症発生状況(疾患別・性別)

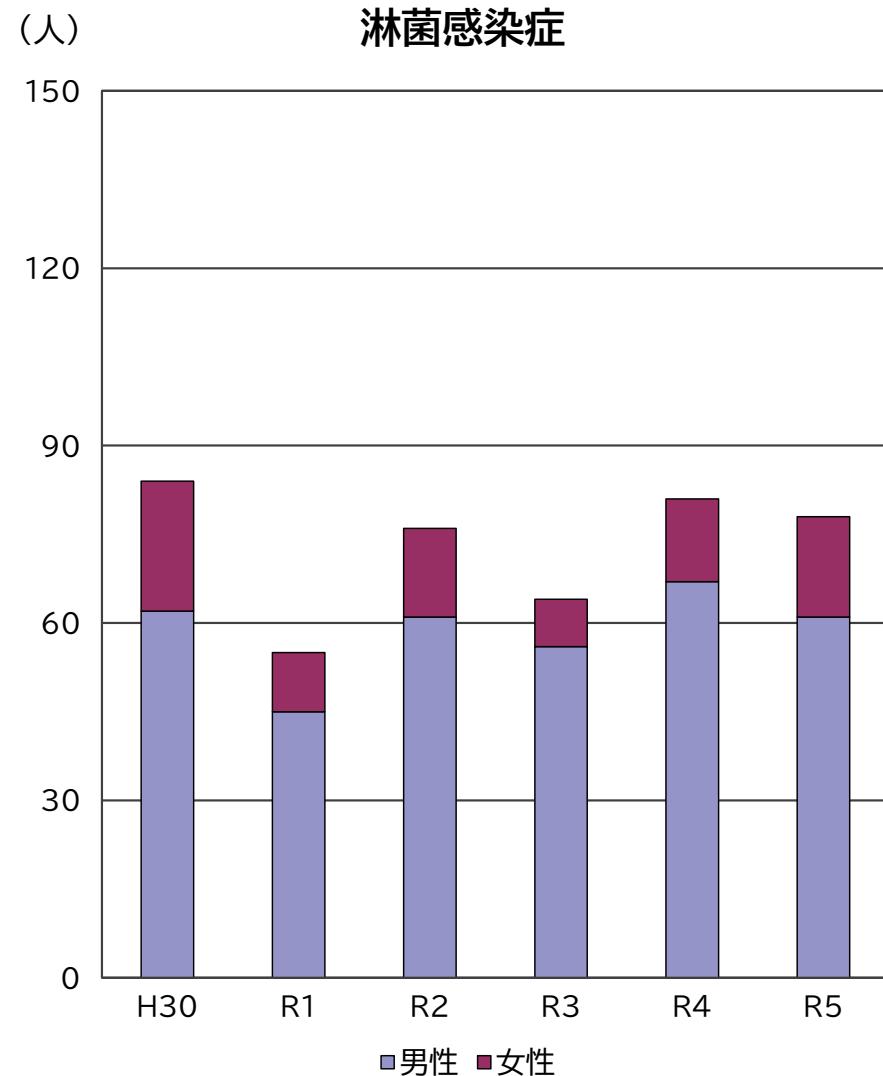
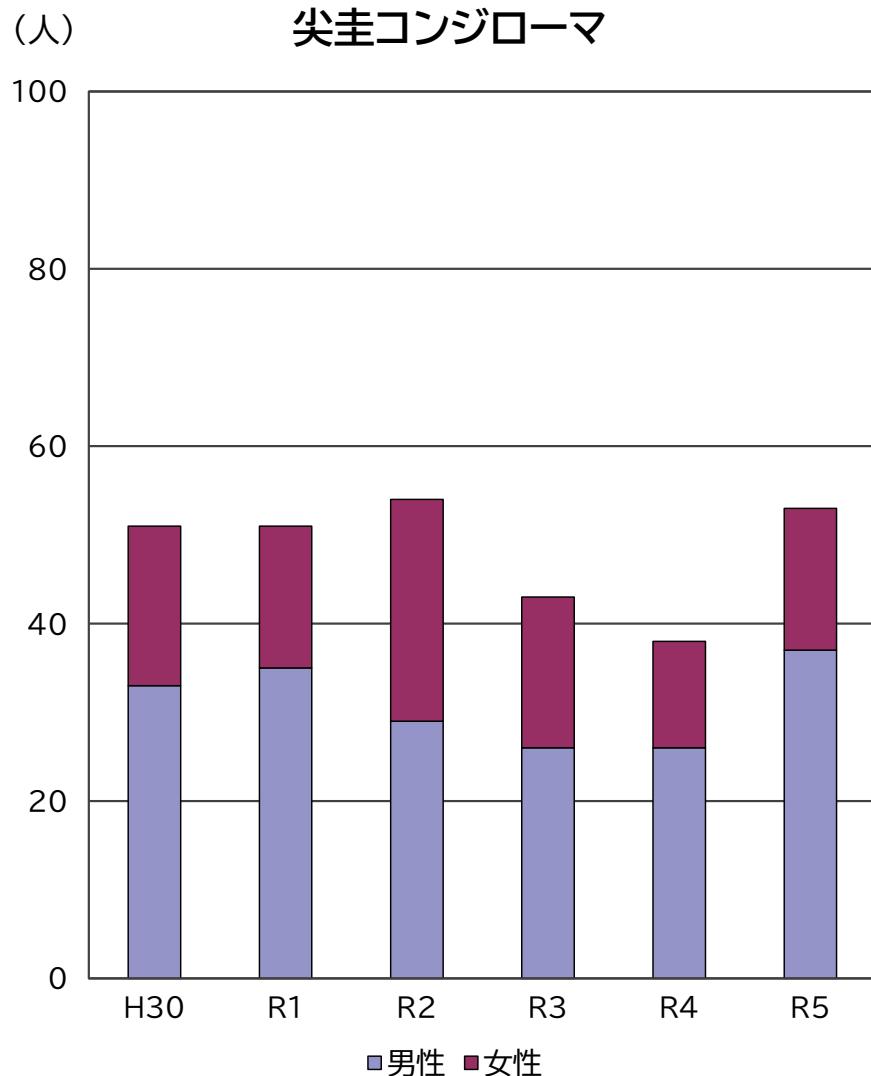
感染症定点報告疾病



【出典】鳥取県感染症発生動向調査事業報告書

性感染症発生状況(疾患別・性別)

感染症定点報告疾病



【出典】鳥取県感染症発生動向調査事業報告書